

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 2 日 (2021.12.2)

【公表番号】特表 2020-527592 (P2020-527592A)

【公表日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-037

【出願番号】特願 2020-503004 (P2020-503004)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/197 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

A 6 1 K 41/00 (2020.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/197

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/107

A 6 1 P 17/10

A 6 1 K 41/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 N 5/06 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 13 日 (2021.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の四肢上の基底細胞癌を処置する方法に使用するための、10%～20%の 5 - アミノレブリン酸 HCl を含む局所組成物であって、

該方法は、

患者の四肢上の処置領域を加熱し；

前記局所組成物を、加熱された処置領域に適用し；そして、

局所組成物が塗布された処置領域に、 $5 \text{ J} / \text{cm}^2$  から  $50 \text{ J} / \text{cm}^2$  の用量の光を投与する、ことを含む、前記局所組成物。

【請求項 2】

局所組成物が、10%の 5 - アミノレブリン酸 HCl を含む、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 3】

局所組成物が、20%の 5 - アミノレブリン酸 HCl を含む、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 4】

光が、青色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 5】

光が、410 nm の青色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 6】

光が、380 nm と 500 nm の間の青色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 7】

光が、LED 光源により投与される、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 8】

光が、約 320 nm と約 780 nm の間の複数の波長を含む、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 9】

複数の波長が、630 nm と 640 nm の間の波長を含む、請求項 8 に記載の局所組成物。

【請求項 10】

光が、5～60 分投与される、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 11】

処置領域が、結節性基底細胞癌を含む、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 12】

光の用量が約  $10 \text{ J} / \text{cm}^2$  である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 13】

光の用量が約  $37 \text{ J} / \text{cm}^2$  である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 14】

光が、局所組成物を適用後、1 分と 4 時間の間で投与される、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 15】

患者の頭皮上の基底細胞癌を処置する方法に使用するための、10%～20%の 5 - アミノレブリン酸 HCl を含む局所組成物であって、

該方法は、

患者の頭皮上の処置領域を加熱し；

前記局所組成物を、加熱された処置領域に適用し；そして、

局所組成物が塗布された処置領域に、 $5 \text{ J} / \text{cm}^2$  から  $50 \text{ J} / \text{cm}^2$  の用量の光を投与する、ことを含む、前記局所組成物。

【請求項 16】

局所組成物が、10%の 5 - アミノレブリン酸 HCl を含む、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 17】

局所組成物が、20%の 5 - アミノレブリン酸 HCl を含む、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 18】

光が、青色光である、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 19】

光が、410 nm の青色光である、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 20】

光が、380 nm と 500 nm の間の青色光である、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 21】

光が、約 320 nm と約 780 nm の間の複数の波長を含む、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 22】

複数の波長が、630 nm と 640 nm の間の波長を含む、請求項 21 に記載の局所組成物。

**【請求項 23】**

光が、LED光源により投与される、請求項15に記載の局所組成物。

**【請求項 24】**

光が、5～60分投与される、請求項15に記載の局所組成物。

**【請求項 25】**

処置領域が、湿潤性基底細胞癌を含む、請求項15に記載の局所組成物。

**【請求項 26】**

光が、局所組成物を適用後、1分と4時間の間で投与される、請求項15に記載の局所組成物。

**【請求項 27】**

光の用量が約 $10\text{ J/cm}^2$ である、請求項15に記載の局所組成物。

**【請求項 28】**

光の用量が約 $37\text{ J/cm}^2$ である、請求項15に記載の局所組成物。

**【請求項 29】**

患者の扁平上皮癌を処置する方法に使用するための、10%～20%の5-アミノレブリン酸HClを含む局所組成物であって、

該方法は、

患者の処置領域を加熱し；

前記組成物を、加熱された処置領域に適用し；そして、

局所組成物が塗布された処置領域に、 $5\text{ J/cm}^2$ から $50\text{ J/cm}^2$ の用量の光を投与する、ことを含む、前記局所組成物。

**【請求項 30】**

局所組成物が、10%の5-アミノレブリン酸HClを含む、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 31】**

局所組成物が、20%の5-アミノレブリン酸HClを含む、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 32】**

光が、青色光である、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 33】**

光が、410nmの青色光である、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 34】**

光が、380nmと500nmの間の青色光である、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 35】**

光が、約320nmと約780nmの間の複数の波長を含む、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 36】**

複数の波長が、630nmと640nmの間の波長を含む、請求項35に記載の局所組成物。

**【請求項 37】**

光が、LED光源により投与される、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 38】**

光が、5～60分投与される、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 39】**

光が、局所組成物を適用後、1分と4時間の間で投与される、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 40】**

光の用量が約 $10\text{ J/cm}^2$ である、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 41】**

光の用量が約 $37\text{ J/cm}^2$ である、請求項29に記載の局所組成物。

**【請求項 4 2】**

処置領域が患者の四肢を含む、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

**【請求項 4 3】**

処置領域が患者の足を含む、請求項 2 9 に記載の局所組成物。